



河小だより

四日市市立河原田小学校
第7号 令和4年 5月19日



5月5日(木)連休中に立夏を迎え、暦の上では夏を迎えました。季節の変わり目で気温も変わりやすく体調を崩すことも多い時期となりました。また新しい学年や環境で張り切ってスタートをして1か月。疲れも出てくる頃ともなりました。

子どもたちの体調管理、健康観察に毎日ご協力いただき、ありがとうございます。生活リズムを整えていくためにも、早寝・早起きを心がけ、毎日元気に登校していただきたいと思います。

第1回コミュニティスクール運営協議会

11日(水)第1回コミュニティスクール運営協議会を行いました。今年度は9名の委員さんにお世話になります。学校運営等についてご意見をいただき、よりよい河原田小学校になるよう取り組んでいきます。

四日市市では、コミュニティスクール運営要綱第2条に「本誌のコミュニティスクールは、保護者及び地域住民等が一定の責任を持って学校園医への参画を行うシステムを有し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民等が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図るものである。」と定められています。保護者の皆さまにはすでに配付済みの「学校玉手箱」の中に学校づくりビジョンについて本校の取り組みを説明し、承認を得ました。これから本格的に「共に学び、共に生きる」力を育てる学校経営を授業での実践を通して職員一同取り組んでいきます。

令和4年度 河原田小学校 学校づくりビジョン 教育目標

「共に学び 共に生きる」力を育てる

目指す子どもの姿
◎確かな学力を身に付ける
◎豊かな人間性を身に付ける
◎健康な心と体を育てる

目指す学校の姿
◎学び合い、高め合う学校
◎安心・安全で居る学校
◎地域と協働する学校

<p>【重点1】確かな学力の定着</p> <p>確かな学力を身に付けることは、児童が将来の社会で生きていくために不可欠な要素です。基礎的な学力を身に付け、学習意欲を高め、自ら学び、自ら表現する力を育てます。</p> <p>◎ 基礎的な学力の定着を図る</p> <p>◎ 学習意欲を高める</p> <p>◎ 自ら学び、自ら表現する力を育てる</p>	<p>【重点2】豊かな人間性の育成</p> <p>豊かな人間性を身に付けることは、児童が将来の社会で生きていくために不可欠な要素です。自己肯定感を高め、他者への理解と尊重を促し、協働する力を育てます。</p> <p>◎ 自己肯定感を高める</p> <p>◎ 他者への理解と尊重を促す</p> <p>◎ 協働する力を育てる</p>	<p>【重点3】健康・体力の向上</p> <p>健康な心と体を育てることは、児童が将来の社会で生きていくために不可欠な要素です。健康的な生活習慣を身に付け、体力を高め、自ら活動する力を育てます。</p> <p>◎ 健康的な生活習慣を身に付ける</p> <p>◎ 体力を高める</p> <p>◎ 自ら活動する力を育てる</p>
<p>【重点4】学校教育力の向上</p> <p>学校教育力の向上は、児童が将来の社会で生きていくために不可欠な要素です。教員の専門性を高め、授業の質を高め、児童の学びを支える力を育てます。</p> <p>◎ 教員の専門性を高める</p> <p>◎ 授業の質を高める</p> <p>◎ 児童の学びを支える力を育てる</p>	<p>【重点5】地域とともにある学校づくり</p> <p>地域とともにある学校づくりは、児童が将来の社会で生きていくために不可欠な要素です。地域と協働し、地域貢献を行う力を育てます。</p> <p>◎ 地域と協働する</p> <p>◎ 地域貢献を行う力を育てる</p>	

委員さんから出された意見や感想

- ・英語の授業では口の動きが分からないと発音が分からないので、マスクをした活動は難しい。
- ・音楽では、リコーダーや鍵盤ハーモニカの活動、近距離での合唱がコロナの影響でできないので、大変だと思うが、工夫してもらっていた。
- ・姿勢が崩れる子が多いと聞いていたが、姿勢よく学習できていた。
- ・落ち着いて学習できている。
- ・タブレットやICT機器を活用する授業方法が定着しているように思った。
- ・昨年度の卒業式について学校として検討課題についてご意見いただきました。

学校運営が子どもたちにとって成長につながるもの、そして保護者にとってもその姿を実感できるものとなるようにいただいた意見を検討し、よりよい学校運営となるよう取り組んでいきたいと思ひます。



5 年社会見学

13日（金）5年生は四日市市立博物館に社会見学に出かけました。この日はあいにくの雨でしたが、子どもたちはたくさんのことを学び確かめてくるために張り切ってバスに乗り込んで学校を出発しました。

プラネタリウムでは、地球の美しさや大切さを学びました。宇宙から見た地球はとてもきれいでそれを未来まで守ることは自分たちの責任であるという自覚も生まれたようです。

環境未来館では、四日市公害の歴史やそれを解決するためにどう取り組んできたのかということを知りました。DVDを見せてもらいましたが、子どもたちは真剣に聴き、自分たちの故郷四日市をきれいな街にするために先人たちが努力されたことを改めて認識しました。

子どもたちには、四日市市は公害の町でなく環境の町として知ってもらいたいという期待が博物館の方から話をいただきました。

自分たちの未来や次世代のためにみんなできれいな四日市市、そして地球となるように取り組んでいきましょう。



来月は6年生、4年生の社会見学を予定しています。6年生は奈良方面に出かけます。感染状況により日程変更や目的地の変更をすることもあります。

社会見学当日に本人の風邪症状や家族の風邪症状があるときには、普段の学校活動と同様登校を控えるようにしてください。

特別支援教育 Co について

特別支援教育のコーディネーターが市内の各校に配置しています。河小だより第5号で紹介したスクールカウンセラーは週に1回の来校となっていますが、特別支援教育コーディネーターは本校の職員その役割を担っています。今年度は高瀬倫子教諭、寺島郁子教諭となっています。

具体的には、発達の相談や通級や転籍についての相談などをさせていただきます。もちろん、特別支援教育コーディネーターが受けた相談について学校内の特別支援教育委員会で協議し、支援方法を共通理解したり、関係機関につないだりします。

子どもたちの発達や行動について気になることがありましたら、担任や特別支援教育コーディネーターに相談してください。

また学校以外にも四日市市教育委員会にも発達等について相談できる部署もあります。学校で受けた相談についても場合によっては関係機関と連携しながら進めていきます。その窓口も特別支援教育コーディネーターの役割となっています。

それらの関係機関との相談がスムーズに進められるように四日市市では「相談支援ファイル」を作成し、子どもたちの教育的支援を幼児期から学校卒業まで記載し、それをもとに適切な支援を受けるようにしています。

子どもたち一人一人の個性を生かし、学びが深まるように特別支援学級だけでなく、他の学級でもユニバーサルデザインの授業づくりについて工夫し、理解を深めていきます。

